

平成26年度 学校経営評価（考察） 【生徒編】

保護者アンケート結果と類似している項目もありますが、全体的に満足度は高いです。しかし、昨年度に比較しやや低下している項目が多いことが気になります。

以下、特徴のある項目について報告いたします。

- （１）** 学習項目では、「授業は理解できる」「積極的に授業に取り組んでいる」「先生方は授業を工夫するなど熱心である」等、かなり高い評価です。

しかし、家庭学習の習慣化やテストに向けての取り組みは、残念ながら昨年度以上に低い評価となっています。全国学テの「家で計画を立てて勉強しているか」の全国平均は61%ですから、本校もほとんど変わりませんが最大の課題です。

繰り返し学習を習慣化させることは学力向上には不可欠です。とにかく学習しなければ学力は付きません。

「面倒くさい！」という発言を聞くことがありますが、みんなのように若い世代の脳には『考える・判断する』という刺激を与え、『創り出す』能力がグングン伸びる時期でもあります。色々なことに対して、面倒くさがらず取り組んでいきましょう。

全国学テの考察からは、これまでも色々な場面で取り上げてきましたが、

- ①朝食と学力の関係、②宿題と学力の関係、③学校規律を守ることと学力の関係、④分からないときの対応方法と学力の関係には相関関係があると出ています。

まずは普段の生活の見直しと、1時間でも机に向かう習慣をつけましょう。

- （２）** 『4つの約束』について、生徒たちは意識をして取り組んでいるようです。

地域の方々からも「挨拶がよくなった」とお褒めの言葉をいただくことがあります。一緒に学校生活を送っていて、学年が上がるに従って、挨拶がよくできているような気がします。一年生、頑張り！

生活委員会や学習委員会の呼びかけで、『2分前着席』に取り組んでいます。朝読書が時間には完璧に開始できていた以前に比べ、やや時間に対してルーズになっていることは改善していきましょう。

集会時の話を聴く姿勢は、全学年、素晴らしいです。きちんと顔を上げ、話し手の方に注目できています。しかし教室では、横向きに座っていたり、あごに手を当てたり、伏せたりしている生徒が見られるのはとても残念です。注意ばかりしていると授業が進まなくなり、困ることもあります。気をつけてほしいです。

清掃活動は、小学校では『黙動』と聞いていますが、中学校ではそこまで求めてはいません。まずは、40余年経っている校舎内外を大事に丁寧に使い、快適な環境で学習をし、後輩によい状態で引き継いでいってこれればと思っています。

家庭において雑巾がけをすることは少なくなってきたのではないのでしょうか。清掃活動は『心を磨く』ことに続く、と言われる方もいらっしゃると思います。学校教育において大事にしていきたい活動の一つです。

- （３）** 「学校は楽しい」については、150名（約半数）の生徒が『あてはまる』と回答しており、我々としては嬉しく思います。満足度としてもやや低下はしたものの保護者の評価とほぼ同じ数値の82%です。

今後も、生徒みんなが、「学校は楽しかった！」と言える教育活動を目指します。

- （４）** 「周囲や先生からの信頼されていると感じる」という点で、評価が低いです。

しかしながら、3年生が実施した全国学テ「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか」では、全国平均より高い約81%が当てはまると答えています。

一方では、「周囲の友人に親切にしている」や「仲間と協力して活動している」はかなり高い数値を示しています。

全校集会の度に「各種大会等の表彰」を行っていますが、「今回も多くの人表彰

された。次は自分が壇上に上がりたい」「今回も〇〇部が表彰された。自分たちの部も頑張る」等の感想がたくさん見られます。

各種行事や学級内の係活動等でもリーダーとして、またある時はフォロワーとしての活動があり、今後もその活動ぶりをみんなで認め、賞賛していきましょう。

(5) 残念ながら「学校にいじめや差別はないと思っている」は、まだまだ低い数値です。

このことについては、早期発見・早期対応を図れるよう職員間で連携を密にし、取り組んでいます。臨時の全校集会や学年集会を開いたり、年3回のいじめ調査や教育相談を実施したりもしています。12月には人権週間で全員が標語を作成もします。

いじめ等の多くが、『からかいやちょっかい』です。最近多くなっているのが、パソコンやスマホ等による「ライン」「ツイッター」によるものです。どこの学校でも頭を痛めている問題です。是非とも、保護者の方々に安全な使用方法についての確認やある面では制限をしていただきたいと思います。

本校からは、いじめや差別的な発言が消えてほしいと全員で確認しあいました。生徒総会において『いじめゼロ宣言』を採択し、生徒自らいじめ問題に取り組んでいます。法律（いじめ防止基本方針）で決まったからではなく、いじめをなくしましょう。気になることがございましたら、早めにご相談ください。

(6) 「悩みや困ったことは先生に相談できる」は低い数値です。思春期は大人への階段の時期でもあり、大人へ反発をしたり、自分に対して不安になったりする時期でもあります。お子さんから「ちょっと話し（相談）があるんだけど」と言われたとき、「ちょっと待って」ではなく、我々大人（保護者・教職員等）が話しを聞いてあげる態勢をとっておきましょう。忙しい時間なら、「〇分待って」と具体的に示すといいですね。大人が忙しいように、今の子供たちも大変に忙しいようですから。

全国学テで「友人関係等の悩みを誰に相談することが多いか」では、学校関係者に相談するというのは全国平均は4%ほどです。なんだか、寂しいです。

学校には、スクールカウンセラーが毎週木曜日に来校し、相談に応じています。生徒のみならず、保護者の方も相談可能です。ご連絡ください。

生徒用アンケートには、自由記述欄を設けていません。次回からは設置することとします。

学校は学力をつけるところであり、集団生活をするることにより社会性を学び、実践する場でもあります。**安全で安心して生活できる学校づくりを目指し**、一歩前進して新しい上志津中学校をみんなで創っていきましょう。